

大利の輝き

- 福岡にも緊急事態宣言が出されました。断腸の思いですが、体育祭は延期です。



4月30日に、体育祭結団式がグラウンドで行われました。生徒も先生も一様に、体育祭が開催されること、みんなで集えたことに感謝し、心一つにすることができました。スローガンには、「例年と形は変わっても、今年この仲間だからこそできる体育祭を創り上げよう」「体育祭で築いたものを未来の私たちにつなげよう」という熱い思いが込められています。この日、すがすがしい青空の下で、これから始まる一大イベントに胸を弾ませた記憶は本物です。みんなで同じ方向を向いて、心を合わせることでできた大切な一日となりました。

しかし、コロナウィルスの感染状況は一向に収まることはなく、福岡県も緊急事態宣言下に置かれることになりました。体育祭は延期です。帰りの会で校長先生からみなさんに放送で伝えられました。落ち着いて校長先生のお話に耳を傾けるみなさんの姿には、体育祭に向かうまっすぐな気持ちと、現状を受けとめる冷静さがありました。

校長先生のお話

みなさんの命や安全、みなさんの家族や愛する人を守るため、中学校の体育祭を延期することになりました。練習が始まって1週間、リーダーをはじめみなさんが体育祭に一生懸命取り組んでいるのを見ていますので、断腸の思いです。今後、緊急事態宣言が解除された後には、校長として安心・安全な環境を確保し、体育祭が速やかに実施できるよう努力します。今一層の感染対策に協力してください。再度、実施できる日まで、体育祭への熱い思いを持ちながらも、校歌にあるように私たち一人一人が、今何ができるかを考え、周りの人と協力し、新たな道を切り開いていこうとする「未来へつなぐ力」を養っていきましょう。

(以下、翌日の合同帰りの会における3年生からのメッセージです)

- 悔しい部分もあると思いますが、この延期の期間をプラスに考えて最高の体育祭を創り上げましょう。
(実行委員長 坂本匠清さん)
- みんなきつい練習にも一生懸命に取り組んで「忘れ物をしない」「戸締りをする」「きびきび動く」「姿勢」「声」などたくさんのことを見て学び、身に付け、とても意味のある練習期間でした。(実行委員長 大村優菜さん)
- 延期は悔しいですが、その分よりよい体育祭を創ることができると思うので、気を緩めず1日1日を大切にしていきたいです。
(黄ブロック長 藤崎日向さん)
- 延期になった体育祭までの準備期間を有効に使い、今まで焦っていたものをゆっくりと考え直したり、日常を振り返ってみたり、体育祭を成功させるための最高の準備をしたいです。
(黄ブロック長 岩佐羽純さん)
- 準備期間が増えたと思ってプラスに考えていきましょう。また、日ごろの生活から鍛えていき、最高の体育祭にしていきたいです。
(赤ブロック長 若松太陽さん)
- どの学年もたった、1週間の練習でとても成長しています。体育祭までのおよそ1か月間でもっと高みを目指して頑張りましょう。
(赤ブロック長 堀上瑠香さん)

- 6月以降の体育祭に向けて、日常生活の挨拶や忘れ物に気を付けて、6月になったらすぐに始められる準備をしておきましょう。
(青ブロック長 樋口颯さん)
- 延期は演技の質を高め、日常生活を見直すチャンスです。意識を切らすことなくこれからの生活にしっかりつなげていきましょう。
(青ブロック長 柴田桃さん)
- 私たちは1学期初めから準備をしてきました。苦しい時もあったけれど、意見を出し合って頑張ってきました。延期を聞いたときは最悪だと思いました。でもよく考えるともっとよりよいものが作れるし、ポンポンもあと100個以上つくらないといけません(笑)ある意味よかったですと思います。プラスに考えて気を緩めず頑張っていきます。
(ブロック演技リーダー代表 大久保万以さん、横田愛梨さん)

<総務委員長、藤井隆史先生からは次のようなお話がありました>

ブロックを牽引するブロックリーダーをはじめ、パネル係、ブロック演技リーダー、生徒会、そしてここにいるみなさんが、頑張っている・輝いている姿を見てきただけに、何とかして、体育祭をこのまま続けたいという気持ちがこみ上げます。

しかしながら、現状を考えるとやむをえない判断であることも理解できます。みなさんに伝えたいのは今の段階では「中止」ではなくて「延期」です。体育祭までの準備期間が増えたこと捉えて、よりよいものを創っていける期間を大切に「できることに一生懸命取り組む」しかないと思います。とにかく前向きに気持ちを切らさず、体育祭でも取り組んできた「当たり前」のことを「当たり前」に頑張っていけるように、日常生活に気持ちを入れてやっていきましょう。

3年生の言葉や先生方の思いから感じられるのは、体育祭そのものは延期になってしまったけれど、体育祭の練習を通してみなさんの心が大きく成長をしていることです。全校生徒で体育祭に取り組むことの意義は、学級、学年、ブロックとさまざまな集団で協働することにあります。難しい課題に知恵を出し合い、協働して取り組むことで、今までに感じたことのない思いや新しい形が生まれていきます。ブロック演技が少しずつ出来上がっていき、大縄が跳べたとき、気付いたら自分の学級を一生懸命に応援していたとき・・・このわずかな時間の中にきっとたくさんの心が揺れる経験をしたことでしょう。その一つずつが自分を成長させ、次の新しい課題に向き合う原動力となるのです。3年生からのメッセージの中には「準備」という言葉がたくさん出てきます。みなさんは、体育祭までにどんな「準備」をしておけばいいのでしょうか。一人一人が考え、かけがえのない日常を大切に過ごしていきましょう。

<当面の予定>

- 5月19日(水) 大利の日(緊急事態宣言下のため、中学校だけで実施します)
- 5月21日(金) 体力テスト(①②3年生 ③④2年生 ⑤⑥1年生)
- 5月24日(月) 夏服販売 7:30~武道場前
- 5月27日(木) 全国学力・学習状況調査(3年生 国語・数学)
- 6月4日(金) 進路説明会(学校では実施せず、YouTube配信にて行います)
- 6月10日(木) 期末考査1日目
- 6月11日(金) 期末考査2日目・選手激励会

<保護者のみなさまへ>

緊急事態宣言に伴い、体育祭の延期をはじめ、PTA活動など変更が多岐にわたり、大変ご迷惑をおかけしております。学校としても、迅速な情報の発信に努めたいと思いますが、不明なことはどうぞ、お問い合わせください。子どもたちの心身の健康を何より優先し、今後の教育活動を進めてまいります。どうぞご理解、ご協力をよろしくお願い致します。